

田尻町独自で 小・中学校の35人以下学級の実施を 吉開議員

教育委員会は「今の国や府の基準のなかで加算された教師をいかに、特定の教科での少人数指導や本来の担任とその他の補助がつくり方などいろいろな方法でおこなっています」

「今後、35人学級の編成は国や府の動向をみて慎重に検討したい。」と答弁しました。



泉佐野市では・・・

泉佐野市は今年度から小学3年生～6年生まで35人以下学級編成

費用は市独自に5400万円を支出
(1人600万円の9人分)
任期付講師を採用

35以上のクラスの在籍児童・生徒数 (H30・5・1)

小学校	1組	2組	支援学級	合計
1年生	35	36	5	76
3年生	38	38	2	78

中学校	A	B	支援学級	合計
1年生	36	35	6	77

少人数指導と

少人数学級の違いは・・・

少人数指導とは、普段の授業は40人の学級指導であるが特定教科(算数や理科、国語など)で習熟度別の少人数クラスを設け授業を行う形態のこと。

一方少人数学級とは、いつでも35人以下の学級で授業が行われることです。

吉開議員の提案

2人の講師を町費で採用

泉佐野市並みでは、1200万円を支出

※上記3学年以外は35人以下学級となっています

※支援学級の児童・生徒は普通教室に入っでの授業も受けます

したがって、小学1年生の普通クラスは支援学級の5人の児童が普通クラスに入れば1組が38人に、2組も38人になります。

田尻町長 栗山美政様

2018年12月19日

2019年度予算編成にあたっての重点要望書

日頃のご公務に敬意を表します。以下、2019年度当初予算編成にあたって、9項目の重点要望をいたします。ぜひ、実現くださいますようお願いいたします

日本共産党田尻町会議員団 小川雄司 吉開育子

介護保険など高齢者の負担軽減

- 1、一般財源からの繰り入れを行い、介護保険料を引き下げてください。
- 2、府内41の保険者中33で実施されている生活困窮者への独自減免を本町も創設されたい。
- 3、65歳以上のすべての高齢者を対象に節目支給ではなく、以前行っていた毎年支給の「敬老年金」を復活していただきたい。

保育料・学校給食の無償化

- 4、栗山町長の公約である「小・中学校の給食費の無償化」を実現されたい。また、保育施設を拡充整備し、「ゼロ～2歳児の保育料無償化」をすべての世帯を対象に実施されたい。

教育内容の充実

- 5、40人学級で国語や算数などの授業での少人数指導ではなく、小・中学校のすべての授業で35人以下学級の授業が実現できるように講師を採用していただきたい。泉佐野市では今年度から小学校全学年で35人以下学級が編成されています。

災害から町民の命を守るために

- 6、総務省は「防災行政無線放送の戸別受信機」の無償貸与を条件に、2020年度まで整備費の7割財政支援を実施しています。この制度を活かして本町全戸に戸別受信機の無償貸与制度をつくり、放送の「聞き取りづらい」を解決していただきたい。
- 7、災害避難施設となる小学校体育館にエアコンを整備していただきたい。

南海電鉄、「医療法人 良秀会」への要望を

- 8、吉見ノ里駅大阪側の踏切の拡幅、無人化の解消、男女別化・洋式化でトイレの改善など南海電鉄に要望していただきたい。
- 9、本町で入院できる病院の再開など医療環境を改善するため、「医療法人 良秀会」(藤井病院の経営法人)へ要望していただきたい。

高齢者のみなさんからご要望が強い介護保険料など負担軽減をまず1番目に求めました。2019年度予算は、栗山町長にとって1期目最後の予算編成となります。栗山町長の公約である「小・中学校の給食費の無償化」の実現を強く求めます。また、交通安全問題では、「吉見ノ里」駅大阪側の踏切の拡幅、医療環境の改善問題では、「医療法人 良秀会」への要望活動を行うように求めました。